

チャット画面利用ガイド

はじめに

本書は、本サービスが提供するチャット画面の利用方法について説明するガイドです。

チャット画面は以下の機能を提供します。

- 履歴付き一般対話
- ファイルの内容を対象とした会話
- Webコンテンツの内容を対象とした会話
- Web検索した内容を対象とした会話
- 会話履歴の選択
- テンプレートを利用した会話
- 文書検索を利用した会話
 - 回答根拠を確認
- 詳細設定(上級者向け)
 - システムプロンプトの編集
 - 対話パラメータの設定

本ガイドの内容は以下のブラウザで動作検証済みです。

- **Microsoft Edge** (バージョン : 137.0.3296.68)
- **Google Chrome** (バージョン : 137.0.7151.103)

推奨解像度: 1280 x 1024 ピクセル以上

この推奨解像度を下回る環境では、以下のような問題が発生する可能性があります。

- レイアウトが崩れ、操作ボタンや入力欄が見つかりにくい。
- 頻繁なスクロールが必要となり、作業効率が低下する。

ログイン

Webブラウザで以下のURLにアクセスします。

<https://<Generative AI FW をセットアップしたホストのドメイン名>/>

Generative AI チャット

ログイン

「ログイン」ボタンを押下すると認証画面に遷移します。管理ポータルにて予め作成済みのアカウントのメールアドレス/パスワードを入力しログインします。

i カスタム認証で認証形式を変更している場合は以下の表示とは異なります。詳細は「カスタム認証利用ガイド」を参照してください。



GENAIREALM

アカウントにログイン

Eメール

パスワード

サインイン

ログアウト

ヘッダー右上にあるユーザ名の箇所をクリックすると表示されるメニューから「ログアウト」を選択することで、チャット画面からログアウトすることができます。



チャット画面からログアウト

チャットによるGenerative AI FW との会話

正常にログインすると、チャット画面に遷移します。左のペインの「会話履歴」では、過去の会話履歴を復元し対話を継続することができます。


- 📘 チャット画面における会話履歴は、履歴付き対話APIからも取得可能です。履歴付き対話APIを実行する際のHTTPヘッダ `x-nec-genai-client-id` に、チャット画面のログインに使用したユーザID(メールアドレス)を指定してください。



チャット画面

ファイルの内容について会話

ファイルを選択することで、指定したファイルの内容について対話することもできます。ファイル添付アイコンをクリックしてください。

ファイル添付アイコンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。対象となるファイルをドラッグ&ドロップまたは、 アイコンをクリック、ファイルを選択し、確定ボタンを押下します。

i 選択可能なファイルの拡張子は、.pdf, .txt, .docx, .xlsx, .pptx です。.txtファイルはUTF-8形式をサポートします。

選択可能なファイルはAPIの仕様に準拠します。詳しくは拡張対話チュートリアルをご参照ください。

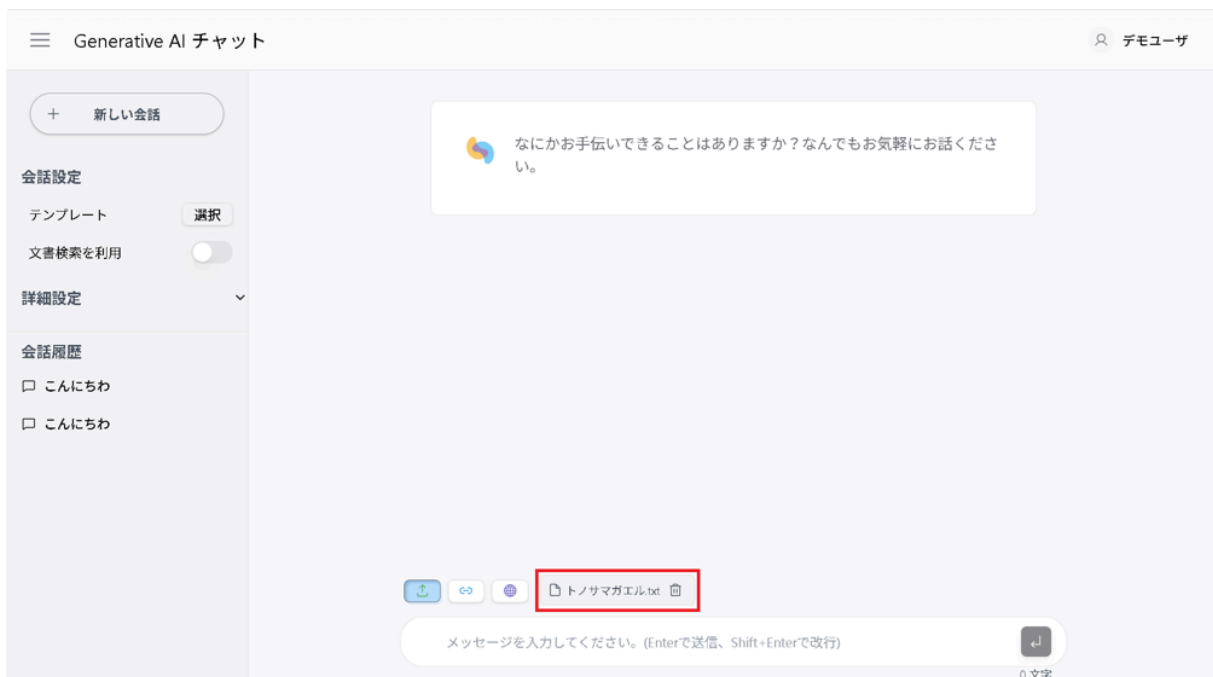


ファイル添付アイコン



i 1回の対話で最大5つのファイルまで指定することが可能です。

ファイルを選択すると対象となるファイルが表示されます。この状態でメッセージを送信することでファイルの内容について会話をすることができます。



📌 本機能を利用する場合、以下の点に注意ください。

- ・ 本機能を利用する場合、後述の「Webコンテンツの内容について会話」、「Web検索した内容を対象とした会話」を併せての利用できません。

Webコンテンツの内容について対話

URLを入力することで、指定したWebコンテンツの内容について対話することもできます。URL入力アイコンをクリックしてください。

📌 本機能はセットアップ時に閉域化対応を有効にした場合には利用できません。



URL入力アイコン

URL入力アイコンをクリックすると、URL入力ダイアログが表示されます。対象となるWebコンテンツのURLを入力し、確定ボタンを押下します。

対話対象サイト指定 - 複数URL対応 (最大5個)

対話対象となるサイトのURLを入力してください。複数のURLを指定できます。

URL 1
URL:

+ URL追加 (1/5)

確定するには、少なくとも1つの有効なURLを入力してください。

確定 キャンセル

- URLにはhttp://またはhttps://から始まるhtmlで記載されたWebコンテンツのみ指定できます。1回の対話で最大5つのURLまで指定することが可能です。
- 指定可能なURLはAPIの仕様に準拠します。詳しくは拡張対話チュートリアルをご参照ください。

URLを入力すると対象となるURLが表示されます。この状態でメッセージを送信することでWebコンテンツの内容について会話をすることができます。



i 本機能を利用する場合、以下の点に注意ください。

- 本機能を利用する場合、前述の「ファイルの内容について会話」を併せての利用ができません。
- 本機能を利用する場合、後述の「Web検索した内容を対象とした会話」を併せての利用ができません。

Web検索した内容を対象とした会話

Web検索した内容について対話することもできます。Web検索アイコンをクリックしてください。

- i** 本機能はセットアップ時に閉域化対応を有効にした場合には利用できません。閉域化対応を有効にした場合、合わせてWeb検索も無効化してください。
- 本機能はセットアップ時にWeb検索を有効化した場合に利用することができます。



Web検索アイコン

Web検索アイコンをクリックすると、検索キーワード入力エリアが表示されます。検索キーワードを入力します。検索キーワードを複数入力したい場合には、スペース区切りで入力してください。



検索キーワード入力エリア

検索キーワードを入力した状態でメッセージを送信することで、指定した検索キーワードに基づいたWeb検索内容について会話をすることができます。



📌 本機能を利用する場合、以下の点に注意ください。

- ・本機能は10000文字（約5000トークン）を上限としてLLMに入力されます。
- ・本機能を利用する場合、前述の「ファイルの内容について会話」、「Webコンテンツの内容について会話」を併せての利用ができません。
- ・会話履歴から「Web検索した内容を対象とした会話」を再開した場合、会話内容は復元されますが、Web検索した際の参照サイトは復元されません。

テンプレートを利用した会話

管理ポータルで予め作成したテンプレートを用いてLLMと会話をすることができます。利用可能なテンプレート一覧を表示するには設定項目「テンプレート」の右側の「選択」ボタンをクリックします。

i テンプレートの作成や編集は「組織管理者」の役割をもったユーザのみ可能です。作成や編集を行うには管理ポータルにログインします。



テンプレート一覧画面の呼び出し操作

利用可能なテンプレート一覧が表示されます。テンプレートを利用するには、テンプレート名（例えば、翻訳（日⇒英））の箇所をクリックします。

i 利用可能なテンプレートは、「文書検索を利用」している場合は文書検索対話種別のテンプレートが表示されます。「文書検索を利用」していない場合には一般対話種別のテンプレートが表示されます。



テンプレート一覧

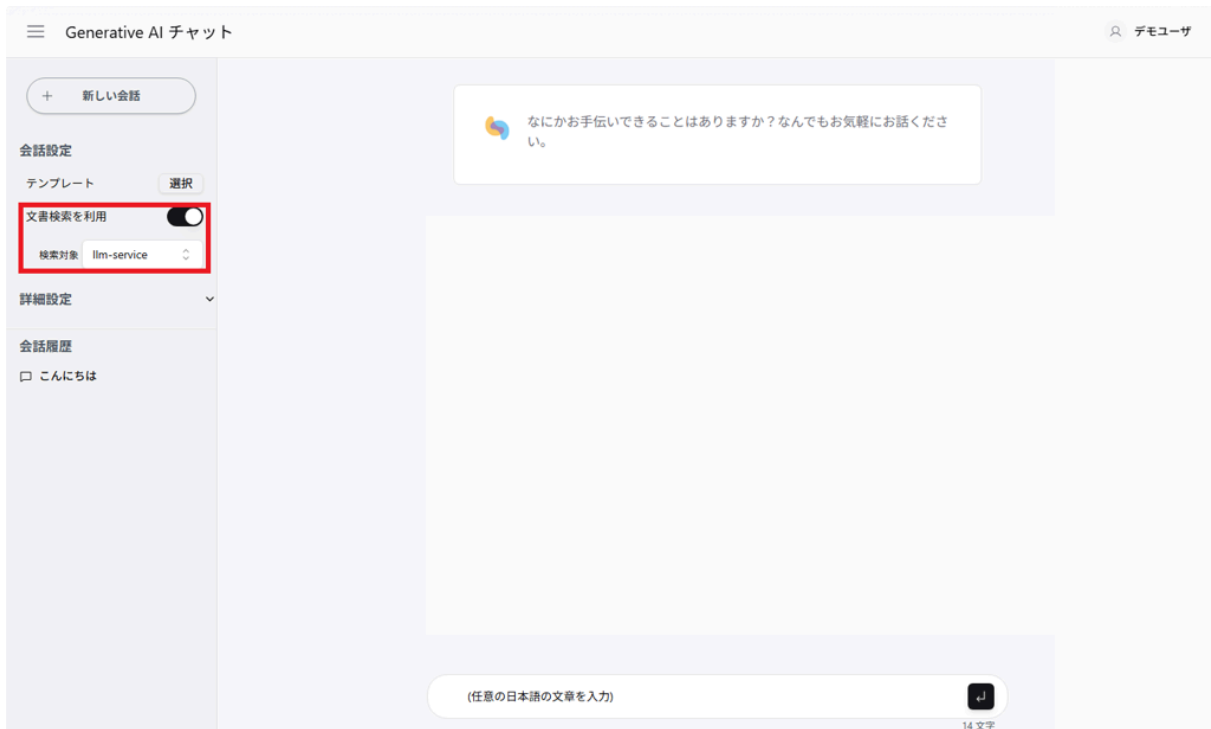
選択したテンプレートが左ペインに表示されます。この状態でメッセージを送信することでテンプレートを利用した会話をすることができます。



文書検索を利用した会話

LLMと予め登録した文書を用いた会話をすることができます。利用するには設定項目「文書検索を利用」の項目を有効化し、管理ポータルで予め作成したインデックスを「検索対象」から選択します。

- ・ インデックスの作成や文書登録は「組織管理者」の役割をもったユーザのみ可能です。作成や登録を行うには管理ポータルにログインします。
- ・ インデックスは複数選択することができます。



文章検索を利用した会話

📌 文書検索を利用する場合、以下の点に注意ください。

- ・「会話履歴」が保存されません。
- ・以前の対話を踏まえた会話はできず、一問一答の対話になります。
- ・文書検索とテンプレート機能と併せて利用する場合、選択するテンプレートは「システムテンプレート（検索対話）」をコピーして作成したテンプレートである必要があります。
- ・文書検索を利用する場合、前述の「ファイルの内容について会話」、「Webコンテンツの内容について会話」、「Web検索した内容を対象とした会話」を併せての利用ができません。
- ・文書検索を利用する場合、後述の「システムプロンプトの編集」を併せての利用ができません。

回答根拠を確認

本機能を用いることで、文書検索を利用してLLMから得られた文章に対し、その根拠となる元の文章を確認することができます。LLMが生成した文章の正確性を効率的に確認することが可能となり、人的な確認作業の負担を軽減します。

本機能を利用するには、会話設定「文書検索を利用」を有効化し対話後に表示される「回答根拠を確認」ボタンをクリックします。



「回答根拠を確認」ボタンをクリック後に分析処理が実行されます。分析処理が完了すると回答根拠が確認できた文章に対して下線が表示されます。下線部をクリックすることで、回答の元となった文書名および文章を確認できます。

黄色ハイライトされた箇所が回答の根拠となった文章です。「関連度」は、数値が高いほど回答の根拠となった度合いが大きいことを表します。また、下線が表示されていない文章は後述する設定で指定した閾値を満たす回答根拠が見つからなかったことを示しています。



本機能では以下のパラメータが設定可能です。

設定項目	説明	値
回答根拠の判定における閾値	この設定で指定した値より小さい関連度の文書を根拠として表示しません。高い値を指定するほど回答根拠の判定が厳密になる一方で、根拠として表示する文書が少なくなります。	<ul style="list-style-type: none">範囲：0.8～1.0デフォルト値：0.85

詳細設定（上級者向け）

i 以降の節では、LLMに関するパラメータの意味や利用方法を理解されている方向けの設定について説明します。設定内容によっては対話がエラーとなったり、文章として成立しない応答になる可能性がありますのでご注意ください。

システムプロンプトの編集

LLMとの会話を任意にカスタマイズしたい場合、会話に用いるシステムプロンプトを編集することができます。システムプロンプトを編集するには詳細設定項目「システムプロンプト」の右にある「編集」ボタンをクリックします。



システムプロンプト編集画面の呼び出し操作

任意のシステムプロンプトを入力し「反映」ボタンをクリックすることで、システムプロンプトを変更することができます。



システムプロンプトの編集画面

対話パラメータの設定

会話に利用するパラメータは、詳細設定項目「回答の最大トークン数」「回答生成のランダム性」の2つを指定することができます。



対話パラメータの設定

設定項目	説明	値
------	----	---

回答の最大トークン数	モデルが生成するテキストの最大の長さを指定します。モデルが認識するトークン数でのカウントとなるため文字数とは異なります。大きな値を指定し過ぎるとエラーになることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 範囲：1以上の整数 デフォルト値：2048
回答生成のランダム性	<p>モデルが生成するテキストの「ランダムさ」や「創造性」を調整します。大きな値を指定するほど生成されるテキストが多様になり、低い値を指定するほど一貫性が高くなります。</p> <p>各モデルごとに最大値の変更が可能です。</p> <p>詳細は、運用ガイド 3.3. 回答のランダム性の上限を指定 をご参照ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 範囲：0.0 ~ 2.0 <ul style="list-style-type: none"> cotomi v3 モデルの最大値のデフォルトは1.0です。 デフォルト値：0.7

文書検索を利用した対話を行う場合、上記2つに加えて、「検索で使う文書数」「回答根拠の判定における閾値（推論を用いない場合）」を指定することができます。

The screenshot shows the 'Generative AI チャット' interface. On the left, there is a settings sidebar. Under '会話設定' (Conversation Settings), '文書検索を利用' (Use document search) is turned on. Under '詳細設定' (Advanced Settings), 'モデル' (Model) is set to 'cotomi v3'. '回答の最大トークン数' (Max tokens) is 2048. '回答生成のランダム性' (Response generation randomness) is 0.7. A red box highlights '検索で使う文書数' (Documents to use for search) set to 4 and '回答根拠の判定における閾値 (推論を用いない場合)' (Threshold for response justification (no inference)) set to 0.85. The main chat area shows a message: 'なにかお手伝いできることはありますか？なんでもお気軽にお話しください。' (Is there anything I can help you with? Feel free to talk to me about anything.)

設定項目	説明	値
------	----	---

<p>検索で使う文書数</p>	<p>インデックスに含まれる文章のうち、検索された文章の上位何件を元に回答作成するかを指定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 範囲：1～20の整数 • デフォルト値：4
<p>回答根拠の判定における閾値（推論を用いない場合）</p>	<p>本設定は回答根拠の確認に関するものです。返却する回答根拠の閾値を指定します。指定された閾値を下回る回答根拠は結果は返却されなくなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 範囲：0.8 ～ 1.0 • デフォルト値：0.85